

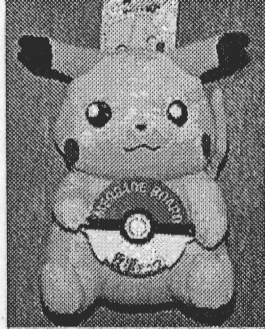
地球流体力学研究室

メンバー

林祥介教授(下写真左)、小高正嗣助手(下写真右)、ポスドク1人、院生8人(D: 5 / M: 3)、4年0人、マスコット2匹(下写真中央ふたつ)、計11人+2匹



林教授



マスコット1



マスコット2



小高助手

研究内容

数値計算を行って流体现象の性質を解明しようとしています。数値計算に必要なモデルも自前で作っています。対象は地球、火星、木星といった惑星大気や球核対流や氷床流動などさまざまです。要するに地球惑星科学に関係する流体なら何でもあります。

普段の活動内容

普段はゼミを中心に活動しています。ゼミには

1. 基礎理論読書会

基本的な教科書をみんなで輪読するゼミ。現在は J. Pedlosky 著 Geophysical Fluid Dynamics を読んでいます。

2. DM2 ゼミ

M2 以上の院生が自分の研究内容を発表するゼミ。惑星物理学研究室と共同開催。

3. その他

その人その人に応じて研究活動の報告や今後の方針を話し合ったりします。GCM(General Circulation Model : 大気大循環モデル) セミナー、GCM(Global Climate Mapping : 気候図作成) セミナー、非静力学モデルゼミ (対流モデル) etc.

があります。

また、年に3回地球流体力学に関するセミナーを開いています。セミナーはビデオ撮影されwebに公開されます。研究室のメンバーは撮影からweb公開に至るまでお手伝いを行っています。

FAQ(?) よくありそう(?)な質問と回答

Q. 研究室内で流行していることはありますか?

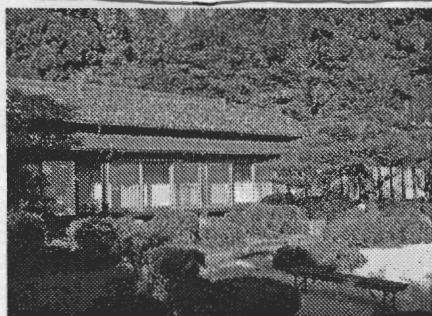
A. けん玉が大流行しています。研究室メンバーのうちmy けん玉を持っている人が3人も。

Q. 研究室のよいところは?

A. 人数が多いこと。特に博士課程の人が多いのは、何かといろいろ教えてもらえとても勉強になります。あと結構アットホームな雰囲気をかもし出しているところも個人的に好きです。

Q. GFD セミナーはどこで行っているのですか?

A. 北海道内の場合は奈井江町やニセコ町の温泉宿で行っています。半分温泉旅行です。北海道外だと東京や京都になることが多いです。去年の秋は京都でちょうど紅葉の時期でした。セミナーが終わった後、紅葉がきれいな秋の京都を満喫しました。



Q. コンピュータのことがさっぱりわからないのですが…。

A. それなりにコンピュータを長く使ってきた人も多く、EPnetfan の活動もあるので初心者へのサポートは充実しています。むしろ苦手意識を持っている人にこそ勧めたいくらいです。

Q. もっとこの研究室のことを知るにはどうしたらいいですか?

A. まずは研究室のホームページをご覧ください。

<http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~yyhlab/>

また地球流体電脳倶楽部のホームページも参考になるかと思います。ぜひご覧ください。

<http://www.gfd-dennou.org/>

これでどんなことやっているかはある程度わかるかと思います。また直接研究室に来ていただければこのパンフやホームページではわからないこともわかると思いますので是非おいでください。